

平成26年度 事業報告

公益法人移行後、3年目を迎え、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的であり充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

事業活動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、細菌検査及び検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

(1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を派遣して食鳥検査を行っている。

<26年度 実績>

(ア) 検査員の派遣実績 (6 処理場合計) 延べ 1,592 日 延べ 検査員数 3,451 人

(イ) 食鳥検査羽数の実績 15,455,445 羽

(ウ) 検査結果 (処分の状況 6 処理場合計)

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合計
77,513 (0.51%)	88,639 (0.58%)	250,907 (1.63%)	417,059 (2.70%)

(2) 食鳥肉等の細菌検査事業

食鳥肉の衛生水準の向上を図るとともに、検査センターの人材と検査機材の有効活用を図るため、委託元である県、市に提言し、委託元の理解を得て行っている事業で、処理された食鳥肉及び機械器具等の検査を計画的に反復実施し、その結果を基に独自事業として食鳥処理場における衛生管理の改善に向けて助言、指導している。

<26年度 実績>

(ア) 食鳥検査センター検査室における検査実績

検査項目：生菌数、大腸菌群数、黄色ブドウ球菌数、サルモネラ属菌及びカンピロバクターの5項目
(各処理場で処理された鶏肉を対象に原則 11回/年)

検査件数：124 延べ検査項目数：608

(イ) 各処理場内検査室における検査実績

検査項目：大腸菌群数、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌の3項目

検査件数：360 延べ検査項目数：1,080

(3) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、伝達講習を行い技術の研鑽に努めている。

なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

<26年度 実績>

年月日	講演内容	講師
26.4.13	平成25年度食鳥肉衛生技術研修会・研究発表会に係る報告	荒井健次検査員・伊藤裕和検査員
26.9.7	採卵鶏大さうで発生したアミロイド症 脾臓にアミロイド沈着が見られた採卵鶏の皮膚型鶏痘	西部家畜保健衛生所 加古奈緒美専門員 中央家畜保健衛生所 村越奈穂子主任
26.11.16	我が国の地鶏・銘柄鶏の現状等	(独)家畜改良センター岡崎牧場 山本洋一場長

公2 獣医学術、獣医療の専門識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

<26年度 実績>

*第1回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成26年6月29日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1201号室

演 題：腫瘍の知識を一括アップデート

講 師：細谷 謙次 先生（北海道大学 准教授）

参加人数：会員66名、非会員23名 合計89名

*第2回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成26年11月30日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 13階1302号室

演 題：犬のアトピー性皮膚炎と免疫介在性皮膚疾患

講 師：西藤 公司 先生（東京農工大学 准教授）

参加人数：会員51名、非会員6名 合計57名

*第1回 畜産部会学術セミナー

日 時：平成27年1月31日

会 場：キャッスルプラザ 4F 梓の間

演 題：①「動物園の獣医師」 ②「動物園の将来」

講 師：①東山動物園 佐藤 康弘 先生 ②東山動物園 園長 橋川 央 先生

参加人数：会員21名、非会員8名 合計29名

*第1回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：平成26年10月11日

会 場：アイリス愛知 コスモス1.2

演 題：エキノコックス症の北海道におけるこれまでの推移と犬を介した本州の分布拡大の可能性

講 師：奥 祐三郎 先生（鳥取大学 農学部獣医学科 寄生虫病学教育研究分野 教授）

参加人数：会員43名、非会員7名 合計50名

*第2回 公衆衛生部会研修会

日 時：平成27年2月12日

会 場：愛知県東大手庁舎 地下1階大会議室

演 題：と畜場・食鳥処理場におけるHACCP導入について

講 師：三澤 尚明 先生（宮崎大学 農学部獣医学科獣医公衆衛生学講座 教授）

参加人数：会員29名、非会員25名 合計54名

*平成26年度 第53回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：平成27年3月1日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1107号室及び1108号室

発表演題数：15題（畜産：6題、臨床：6題、公衆衛生：3題）

【特別講演】（産業動物、公衆衛生の部）

演 題：データ解析は難しくない。パソコンを使ったやさしい統計解析入門

講 師：農研機構 動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域 山根 逸郎 先生

【特別講演】(小動物の部)

演 題：脳脊髄外科：外科適応症例の見極めと手術の実際

講 師：神志那 弘明 先生 (岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科 獣医臨床放射線学研究室 准教授)

参加人数：会員 51 名、非会員 4 名 合計 55 名

(2) 学会発表推進事業

(公社) 日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<26 年度 実績>

* 獣医学術中部地区学会発表者 10 名

公3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

(1) 狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年 4 月から 6 月を狂犬病予防注射月間として活動しており TV 広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<26 年度 実績>

(注射済票・鑑札交付事業)

注射済票交付枚数：88,890 枚 鑑札交付枚数：6,495 枚

(広告宣伝事業)

TV スポットの実績：3 月 25 日～4 月 17 日に(株)電通中部支社を通してメーテレにて延べ 24 回実施した。

(2) 共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<26 年度 実績>

日 時：平成 27 年 2 月 1 日

会 場：名古屋市獣医師会館大講義室

演 題：「レプトスピラ症の検査法、治療法」

「敗血症における血液培養の重要性、耐性菌を作らない抗菌薬の使用法」

講 師：千葉県開業 むらた動物病院 村田 佳輝 先生

参加人数：会員 47 名、非会員 33 名 合計 80 名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬等)利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。

<26 年度 実績>

* 助成実施頭数 9 頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業(県民公開講座)

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<26年度 実績>

*学校動物飼育支援委員会（県民公開講座）

日 時：平成26年8月7日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1203号室

講演内容

第1部：生命尊重の心を育む動物飼育

講 師：鳩貝 太郎 先生（国立教育政策研究所 名誉所員、首都大学東京（旧都立大学）客員教授）

第2部：「ふれあいのある継続飼育」実践の成果

講 師：中川 美穂子 先生（全国学校飼育動物研究会顧問、日本獣医師会学校動物飼育支援対策検討委員会副委員長）

参加人数：会員18名、非会員32名、教育関係者26名 合計76名

*動物愛護・共生委員会（講演会）

日 時：平成27年2月11日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階1006号室

演 題：これからの動物医療の役割とは？

～人と動物のより良い関係づくりのために、今、動物従事者が知っておかなければならないこと～

講 師：太田 光明 先生（麻布大学 介在動物学研究室 教授）

参加人数：会員25名、非会員23名、合計48名

(2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<26年度 実績>

*9月23日 動物愛護フェスティバルinとよた

*9月23日 東山動物園慰霊祭

*10月23日 本会慰霊祭

(3) 動物愛護事業（動物愛護図画コンクールの表彰）

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<26年度 実績>

*日本獣医師会長賞 1作品、愛知県獣医師会長賞 1作品

(4) 動物愛護事業（長寿犬表彰）

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<26年度 実績>

長寿犬表彰頭数 14頭

(5) 学校動物飼育支援事業（ふれあい教室）

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<26年度 実績>

*ふれあい教室 78校（延べ 99回）

*飼育相談対応 4校・6回

(6) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<26年度 実績>

*実施登録獣医師数：82名

*保護指導数（鳥類：72種・178羽、獣類：7種・7頭）

*関連セミナー（保護指導獣医師、その他獣医師、一般県民対象）

日 時：平成27年1月18日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1103号室

演 題：野生動物を考える 「～保護されるコウノトリと処分されるイノシシ、アライグマ～」

講 師：宮下 実 教授（近畿大学先端技術総合研究所 生物工学技術研究センター長）

参加人数：会員31名、非会員4名 合計35名

他1 会員に対する相互扶助等事業

(1) 互助・福祉厚生事業

(ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。

(イ) 同好会への助成実績

- ・自転車同好会（チャリベッツ）への助成。
- ・11月3日開催 第5回ゴルフコンペへの助成。
- ・ソフトボール同好会 傷害保険及び対外試合（年1回開催）への助成。
- ・人と動物の絆の会の訪問活動への助成。

(ウ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償保険」を契約。

- ・平成26年度の契約人数は476名。

(エ) 顧問弁護士契約を継続。

(オ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

(2) 会員の表彰

- ・中部獣医師会連合会会長表彰に14名推薦。

(3) 会員の弔慰

- ・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。
- ・出産祝、病氣見舞及び災害見舞の給付をした。

(4) 獣医療証明様式等頒布事業

- ・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。

<26年度 頒布実績>

証明書A：1,063冊・証明書B：57冊・動物医薬品指示書：220冊・出荷制限期間指示書：9冊

狂注済証：219冊・狂注猶予証：23冊

(5) 獣医師の倫理向上に関する事業

*臨床部会「綱紀・獣医事委員会」を8回開催し、獣医療過誤申出について検討した。

(開催日：4/24・5/29・6/26・8/28・10/16・11/27・12/11・1/15)

*臨床部会「新入会員研修会」を開催。

日 時：平成27年2月22日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1109号室

演 題：(1)獣医師会概要、(2)獣医療トラブルを回避するために

講 師：綱紀・獣医事委員

参加人数：臨床部会新入会員：12名（開業会員：6名・勤務会員：6名）、非会員：1名

(6) 獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について

平成 26 年度事業報告附属明細書

(自：平成 26 年 4 月 1 日 至：平成 27 年 3 月 31 日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）
該当事項はない。

管理部門

1. 会員の状況

区分	平成25年度末 会員数	平成26年度中の異動			平成26年度末 会員数
		入会者数	退会者数	増減	
会員数	954	31	30	1	955

(なお、権利停止1名は含む。賛助会員2団体は含まない。)

<会員数の内訳>

部会名	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会
部会別会員数	258名	477名	220名

2. 会費未納入状況

(1) 平成26年度部会別会費未納者状況(平成27年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	2名	22,000円
臨床部会	6名	273,000円
公衆衛生部会	3名	48,000円
合計	11名	343,000円

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
75,000円	0名	3名	0名	3名	225,000円
50,000円	0名	0名	0名	0名	0円
16,000円	1名	3名	3名	7名	112,000円
6,000円	1名	0名	0名	1名	6,000円

(2) 平成26年度臨床部会費未納者数：2名(75,000円内、1名は2年間未納)

(3) 平成25年度部会別会費未納者状況(平成26年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	1名	16,000円
臨床部会	5名	148,000円
公衆衛生部会	3名	48,000円
合計	9名	212,000円

但し、会員権停止2名(臨床部会・勤務会員)を含む

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
50,000円	0名	2名	0名	2名	100,000円
16,000円	1名	3名	3名	7名	112,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円

(4) 平成25年度臨床部会費未納者数：3名(75,000円)